

生 — 奉仕精神を旺盛にする
活 — 人の立場を深く理解する
信 — 物を大切に
条 — 礼儀作法を実践する

今後の予定

1月

24 日(金) 第 3 回英検(1 次)
1 年修学旅行結団式
25 日(土) 第 3 土(18 日)と入替授業
駿台模試(2 年)
26 日(日) 1 年修学旅行(～30)
31 日(金) 2 年就職希望者調査書配布
1 年修学旅行代休

2月

1 日(土) 1 年特別家庭学習
(JSS JS ST)
3 日(月) 2 年第 2 回就ガイダンス
5 日(水) 40 分 6 限授業
8 日(土) 2 年進研マーク模試 (～9)
9 日(日) 第 3 回危険物取扱者試験
12 日(水) [一般]入試設営(午後)
3 年生出校日
13 日(木) [一般]入試
生徒家庭学習
17 日(月) 学校交通安全日(647 回)
20 日(木) 学年末考査 ～26
25 日(火) 国公立前期日程 (～26)
26 日(水) 卒業式設営
海外語学研修
第 2 回オリエンテーション
27 日(木) 大掃除・卒業式予行
3 学年出校日
28 日(金) 卒業式 1 年家庭学習
29 日(土) 学校休業日

3月

2 日(月) 2 年就職面談(～18)
読書週間(～ 7)
6 日(金) 強歩会
8 日(日) 公立大学中期日程
9 日(月) 2 年 SPI 基礎テスト
12 日(木) 国公立大学後期日
40 分 5 限授業
17 日(火) 学校交通安全日(648 回)
19 日(木) 終業式
20 日(金) 新入生招集日
21 日(土) 春期課外授業 (～28)
※変更になる場合があります。



1 月 7 日に第 3 学期始業式を実施しました。式に先立つてこの冬休み中に活躍した文徳生の健闘を称えて表彰披露を行い、始業式に移りました。学校長訓話では、日本オリンピック委員会長の山下泰裕会長が講演会で話された「現役時代に監督を務めておられた神永さんが自らトイレのスリッパを並べていた。周りがよく見えている証拠だ。」「ロサンゼルス大会決勝戦の相手であったラシユン選手は、私が痛めていた足を攻めてこなかった。自然と相手を感じる舞いが出てくる。」「という二つのエピソードを紹介し、大人になるということは、周りが見えるようになるということであり、自然な振る舞いの中で出来るような人になってほしい。最後の一分一秒まで無駄にせず、学習に励んでほしい。」との話がありました。

誓いの言葉では、高宮くん(JSS 八代第四中)が「模試では失敗ばかりでしたが、絶対合格するという強い意志で頑張ってきました。多くの方々に支えていただいたことへの感謝の気持ちを持って、最後の一分一秒まで全力を尽くします。」と力強く述べました。記念品贈呈があった後、2 年生激励の言葉を伊津野くん

12 月 18 日、2 学年普通科の総合的な学習の時間に崇城大学から 3 名の先生をお迎えし、出張講義を実施しました。生物生命学部応用微生物工学科の長濱一弘先生は「微生物を知って何になる!」というテーマで微生物工学と社会とのつながりについて話して下さいました。持続可能な社会作りのために、微生物学を活かしていく可能性の大きさに驚かされました。

工学部ナノサイエンス学科米村弘明先生には「ナノサイエンスの醍醐味」として、ナノサイエンスと身近な現象の関係について、また金属ナノ粒子を活用した最新の先端研究について話していただきました。実験も交えたお話を、生徒たちは興味深そうに聴いていました。

そして芸術学部デザイン学科の小川剛先生には、「マンガ表現の可能性」というテーマで「講義をいただきました。ここ 15 年、世界的に「マンガ」が見直されてきている中、熊本県庁に「ワンピース」のルフィ像が立ったことは、マンガ史上特筆すべきことだそうです。

3 会場各 25 分の講義はとも聴きやすく、生徒たち全員が笑顔で参加できました。

1 月 6 日に 3 年生の国公立大学受験に向けた合格祈願式を実施しました。学校長激励の言葉では、「失敗とは、チャレンジすることをやめたときのことを言う。出題される問題は皆同じ。不安になる必要はない。最後までチャレンジをやめてはいけません。最後の一分一秒まで無駄にせず、学習に励んでほしい。」との話がありました。

その後、ホールルームと整理考査卒業試験を行い、3 学期初日の日程を終了しました。合格祈願式 感謝の気持ち忘れず、最後まで全力尽くす

最後に本田学年主任より「皆の目つきを見て、大丈夫だと確信しました。あらゆる苦難を制した自慢の生徒です。君たちの努力、先生方の指導力、何より愛する家族のサポートが、今日皆さんをこの場へ導きました。もし、君が負けると考えるなら君は負ける。ダメだと考えるならダメになる。失敗すると考えるなら失敗する。最後まで成功を願いつけた人だけが成功を収めている。全ては人の心が決める。強い人が勝つとは限らない。素晴らしい人が勝つとも限らない。『私はできる』と考えている人が結局は勝つ。最後まで攻めて、全力で立ち向かう。」「と激励の言葉を贈り、最後に全員が盛大にエールを送り合っていました。

3 学年集会 3 年間の振り返り そして、これから 1 月 10 日に家庭学習期間に入る生徒を集め、3 学年集会を行いました。まず生徒指導部より、「自動車学校への入校は担任の許可を得てすること」を語り、これから先の大学・就職について「一人一人のケアができるような看護師になりたい」「誰かのためになる

と、卒業式までの期間は事故などに気を付けて過ごすこと、卒業式にはお世話になった方への感謝を持ち、恩返しだと思つて出席してほしい。」との話がありました。その後、東さん(3F2 阿蘇西原中)、竹下くん(3F3 宇土鶴城中)、福田さん(3F4 稜南中)、草野くん(3T2 宇土鶴城中)、松野くん(3T2 西合志中)が高校生活を振り返り「寮生活、部活動での努力やチームでつかった勝利」「就職で高校受験のリベンジを果たした」など多くの思いを語り、これから先の大学・就職について「一人一人のケアができるような看護師になりたい」「誰かのためになる

ことを心において行動したい」「多くの人から応援してもらえ力士になる」などの目標を発表しました。最後に本田学年主任から、「高校生活でコツコツ取り組むことはとても大事なことです。最初から目標がなくても途中でから目標を見つけて短時間で熱中できることもとても大切です。3 年間の高校生活の中で、それぞれ何か一つでも熱中できることを見つけたらいい。晴れの舞台となる卒業式は熊本の卒業式にしたい。この 3 学年のことを誇りに思います。」との話がありました。

ための技術を微生物から発見するのは非常に合理的で可能性あふれることだと思った。燃料や薬品などを一つ一つ作ったり調べたりするより、微生物にやらせる方がはるかに効率が良いことが分かった。何をどう作らせるかはアイデア勝負ということも、生体内の多くの反応を考えれば納得した。(花園くん(2JSS 井芹中)) 「赤のレーザーが赤いガラスを通り抜け、緑のガラスは通り抜けられない実験が面白かったです。あれが赤シートとかで利用されているのだと思います。(早川さん(2JSS 八代第三中))」



部 活 動 等 結 果 報 告

◇ライフル射撃部

令和元年度第4回九州高等学校ライフル射撃競技新人大会

- ・エアピストル女子60発競技
【優勝】 楠下さん(2F3 千丁中)
- ・ビームピストルミックス競技
【3位】 楠下さん(2F3 千丁中)
園田くん(2JS5 合志中)
- ・ビームピストル男子 60 発競技
【準優勝】 與田くん(1T1 清水中)
【第6位】 園田くん(2JS5 合志中)
- ・ビームピストル女子 60 発競技
【3位】 楠下さん(2F3 千丁中)

◇空手道部

第 27 回フェニックス旗高等学校空手道選手権大会

- ・女子個人組手
【3位】 村田さん(2T2 住吉中)

◇硬式テニス部

令和元年度熊本県高等学校冬季ダブルステニス大会

- ・男子 C クラス
【優勝】 奥村くん(1F2 江原中)・小林くん(1F2 富合中)

◇囲碁将棋同好会

第3回全九州高等学校総合文化祭宮崎大会 囲碁部門

- ・女子個人戦 19路盤の部
【第3位】 芦田さん(3F2 白川中)
- ・女子個人戦 9路盤の部
【第3位】 芦田さん(3F2 白川中)



硬式テニス部 奥村くん 小林くん



ライフル射撃部

今年では現行のセンター試験最後の年です。浪人を避けようと受験生の安全志向が加速する中、本校からは190名の生徒が、熊本大学で1月18日、19日にセンター試験を受験しました。昨年の12月の始めから、何度もセンター試験対策の問題を解き、本番に向けて頑張ってきました。3年間の学習量や学習時間は他校の生徒には決して負けていません。自信を持って、臨んでほしいと思います。

来年から大学入試が大きく変わります。大部分の大学で、高校時代の活動報告書や

学修計画書の提出に加え、学力試験や面接試験が行われ、調査書や資格検定試験の点数化がはじまります。それらを総合的に判断して可否が決定されることになるため、これからは、学力以外に主体性の評価が重要になってきます。具体的には、高校1年生から3年生までの活動記録をJapan-e-Portfolioのホームページに、生徒本人が入力することとなります。できるだけ正確に記録を残すために、小まめに入力することをお勧めします。日頃から、学校の行事にはもちろんのこと、自

新制度に向け、
小まめな記録、対策を

進路指導部 進学編

また、英語に関してでは外部
検定試験の成績を出願資格に
したり、入試の成績に点数を
加点したりする大学が増えて
きています。現1、2年生の皆
さんは進路の選択の幅を広げ
るためにも、高校生レベルと
言われる英語力(英検で言う
ところの2級)を3年生の7月
までに身につけ、英語外部検
定試験で資格を取得してほし
いと思います。

最後になりましたが、2月
末には期末考査があります。

仕事が覚えられない…
事前準備はOK？

進路指導部 就職編

熊本労働局の発表では、11月末現在の県内高校生の内定率は88.4%（男子89.9%、女子86.2%）です。内定者3227人の県内就職割合は56.3%（男子49.2%、女子66.6%）です。また、就職未内定者は昨年比より5.4%減少し、424人となっています。

先日、ハローワークより平成31年3月卒業者の職場適応状況調査結果の報告があ

この調査は、学年成績が決まる大事な試験です。しっかりと準備して臨んで下さい。



1月17日実施 第3回漢字検定の様子

りました。就職して感じたことについての卒業生の感想を以下に一部紹介します。「気を遣う性格ですが、年上の方ばかりの職場なので、なかなか自分から話をするのが難しいです。言いたい気持ちがないかなかな言えません。先輩方に質問しようと思いますが、何が分からないのか分かっていません。同期の人や後から入社した派遣の人と比べられます。本当にこの仕事でよかったのか悩んでいます。理解力、語彙力、対応力の低い自分がやっていけるか不安です。・新人なのにとっても仕事が多いです。仕事内容が全て覚えられるか心配です。・有給は半年後からしか取れません。・足のむくみが気になっています。・自分の仕事がちやんとできているか不安です。・周りに迷惑を掛けていないか不安です。・休憩時間に入っても丁寧に教えて頂いていますが、何度教えてもらっても覚えられないことがたくさんあります。・仕事の邪魔になっているんじゃないか、自分がいない方

写真部 入選作品紹介

熊本県高等学校文化連盟
写真専門部後期写真コンテス
トに出品した、本校写真部の



藏屋さんの作品「秋の味覚」

「秋の味覚」が、入選しました。
「秋の味覚」はヒヨドリが庭
の柿の実をついばんでいる姿
を、望遠レンズでタイミング
よく撮影した写真です。

入賞作品は2月5〜18日、
くまもと森都心プラザ2階
「観光郷土情報センター」に
展示されます。



写真部の蔵屋さん

が仕事が進むんじゃないかと考えてしまいます。・学生から社会人になるという自覚を持ちたいと思います。・きちんと返事をするのを心掛けています。・一度言ってもらったことはきちんとやりたいと思います。・仕事を効率よくするために、事前準備を大切にしています。・分からないことはすぐに質問し、曖昧な仕事をしないようにしています。・また、できないことははっきり断ることも大切だと思います。・電話対応は、敬語でしっかり受け答えができるように努力しています。・お客様に対する基本的な接客態度、仕事を効率よくする時間管理を身に付けたいと思います。・規則正しい生活リズムを刻んでいく努力が大切だと思います。」

厚生労働省の公表によると、新規高卒者の就職後3年以内の離職率は、ここ数年40%に近い数値で推移しています。社会人としてこれからというときに早期離職することとは、本人だけでなく企業に

とつても大きな損失です。3年生諸君には、卒業までの期間が残り少なくなってきましたが、貴重な時間を疎かにすることなく、新社会人を迎える準備を真剣に進めて下さい

3学期を迎え、いよいよ2年生諸君の本格的な準備に入ります。1月14日には、2回目の就職模試を実施しました

1月18日は、本校に於いて厚生労働省主催の就職ガイダンス(終日)を実施。1月31日には、就職希望調査配布。2月3日は、校内における第2回就職ガイダンス。そして、いよいよ3月2日から就職希望者40名の面談がスタートします。就職戦線を勝ち抜くために、以下の4つのことを守って下さい。

1. 欠席をしない。
2. 毎日の授業を大切にする。
3. 毎日新聞に目を通す。
4. どんな仕事をしたいのか意志を明確にする。

以上のことから逃げずに、自分自身と真正面から向き合う時間を大切にして下さい。文徳高校は頑張る君を応援していきます。

崇城大学通信 No. 99

コンピュータ技術を活用して
魅力のあるまちづくりを目指す



工学部 建築学科
古賀 元也（こが もとや）准教授

私たちが住んでいる熊本のまちなかには、友達とおしゃべりをして過ごすカフェ、買い物を楽しむお店、イルミネーションで飾られた並木通りなど、たくさんの魅力があります。その一方でいくつかの問題も抱えています。そのひとつに通りの整備不良の問題(通行幅や段差)があり、ベビーカーを押す人、車いす使用者、お年寄りなどの交通弱者にとっては優しいまちなかとは言えません。そこで私たちの研究室では交通弱者も含めた多くの人たちがまちなか活動を楽しむことができるようなまちづくりに取り組んでいます。具体的には、まちなかをフィールド調査し、GIS(地理情報システム)を用いて都市情報を解析して、車いす使用者のまちなか活動を安全なルートで案内するアプリ「車いすナビ」を開発しています(iPhone 版を公開中)。また、CGを用いて都市の将来像をシミュレーションしたり、災害時に住民が安全に避難できるシステムを開発したりしています。これらの取り組みを通じて将来、皆さんが安心して過ごせるまちづくりを目指したいと思います。



熊大の学食にて昼食休憩中

女子生徒2名に

の席の確保のために並びました。

試験前には緊張しつつも、皆落ち着いた様子で自分のノートを読み返したり、参考書に目を通したりして、復習に余念がありませんでした。

試験後は疲れた様子で控室に戻り、お昼には昼食と楽しい会話に、束の間の笑顔を見せていました。

センター試験本番 いざ、勝負の時

の席の確保のために並びました。

受験シーズンを迎え、今年の今頃は高校受験の追い込みだったなあと思います。あれから1年、とても早かったです。息子には早く自分の現状を把握し、自分の甘さを認め努力してほしいと願うばかりです。親として何とか良い方向へ導くことができないかと思うのですが、なかなか具体的な策を提案するのが難しいところです。今学期は本人の頑張りを見たいです。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

1年 普通科

ご家庭より

1年
普通科

ハンドボール世界選手権観戦から帰宅し、第一声は「すこかつた」という言葉でした。世界のトップアスリートの方々のプレーは、初めて見る者も魅了するのですね。毎日毎日、どれほどの努力を積み重ねておられるか、などプレーをされる姿を通して思いを巡らせてほしいです。

1年 普通科

冬休みは三者面談に始まり
部活行事、家庭行事等で充実
していました。1年生としてあ
と3カ月、1日1日を大切にし
つかりまとめをしてほしいと
思います。

1年 普通科

ありませんでした。ありがとうございます。調査したところ、この生徒2名は河野さん（181 熊大附属中）と松本さん（182 熊大附属中）でした。見知らぬ人が困っている時に助けてあげた立派な行動です。



河野さん(左)と松本さん(右)

学年保護者会では、英語外部検定試験についての概要説明がありました。子どもはもちろん親も今後の大学入試の方向性や具体的な内容等をきちんと理解しておかないといけないと実感しました。また、三者面談では息子の将来の自分像が明確でないとまわりの者もサポートするのが難しいということも考えさせられました。今、自分は何のため学んでいるのかをしっかりと理解して、日々の授業や課題に取り組んでほしいと思います。日々の丁寧なご指導に感謝しています。

謝しています

自分の花を咲かせるには

生徒指導部

「タンポポが、スミレが、レンゲが、それぞれの花を咲かす時、それぞれの花のいのちの完全なる燃焼である。なぜ人間だけが自分の花を咲かすことが出来ないのか、それは、たつた一つ、自分に素直になれないからだ。」これは、栃木県出身の作家、講師である石川洋（いしかわよう）先生の言葉です。先生は、講師として日本各地で講師として活躍され、受講生に「人としての生きざま」を問いかけ、感動を呼

「人間だけが、自分の花を咲かすことができない」確か

んだ方です。

1年普通科

三者面談ではお世話になりました。あと2年間。悔いの残らないよう努力してほしいと思います。親としては可能な限り協力してゆきたいと思えます。

1年普通科

保護者会で、詳しくお話が聞けて良かったです。修学旅行も楽しみにしているようです。体調に気をつけさせたいと思います。宜しくお願い致します。

1年普通科

地元で世界大会が観戦できるのは本当に幸せだったと思います。ルール等は分からないにしてもその場の雰囲気を感じることができただけでも、とても貴重な体験です。この体験を大切に、真剣に何かに向き合うすばらしさをこの先の人生において何かに生かしてくれると良いな……と親として願います。

にそうかもしれせん。「素直」になれ。と小さい頃から言われ続けていますが、頭では分かっている、なかなか素直にはなれないものです。他人の評価を気にしてしまう。他人の評価が気にしながら、行動している。そういうことがありませんか。しかし、他人の評価に左右される人生を歩んではいけません。では、素直になって、自分の花を咲かせるにはどうしたらいいのかを考えてみましょう。

「人見るもよし 人見ざるもよし 我は咲くなり」という言

武者小路実篤の言葉に、

1年 普通科

ではお世話になりました。報道でも取り上げられています
が、大学受験のシステムが
色々変わり、息子達が受験す
る年までどうなるか分かりま

せん。
落ち美

ていつてもらいたいです。

1年 普通科

気がたつて

だった英語にも少しずつ努力の成果が見え始め、頑張り続けることの大切さに改めて気づくことができています。親子で話し合い、来夏のニューヨークランドホームステイへの参加を決めました。新しいことへの挑戦が、これからの人生の糧にきつとなってくれると信じ、そのような機会をいただいたことに感謝しています。

葉があります。何はともあれ「咲く」ことが大切です。それは、他人の評価を受け止める主体性の問題といってもいいでしょう。褒められればありがたく受け止め、悪く言われれば、それをも受け止めてゆく。しかし、いつも心の底には他人の評価にかかわりなく存在する「自分」を温かく、しかも冷静に見つめる姿勢が大切なのです。そして、自分だけが咲かせられる花を一番美しく咲かせていこう、という決意と努力が不可欠です。

花が咲くために太陽、空気、水等が必要のように、人間が「咲く」ためには「愛」が必要です。他人を愛する前に、あなたは自分自身を愛せていますか。それができれば、きっとあなたも「素直」な人生が歩めるはずです。

1 年 普通科

「今回は何番までには入りたい」「〇〇には負けたくない」などの気持ちはあるのですが、なかなか結果へと繋がらず、勉強の取り組み方、集中力の無さに悩んでいるようです。

やる気のある時は一気に取り組み、気持ちが向かない時は休憩、気晴らしも大切と本人の気持ちに任せるしかないのかなと思っております。学校でのことは分からないのですが、本人、先生方を信じて色々な事を経験し、有意義な高校生活を送ってほしいと願っています。

1年 普通科

世界ハンドボールの応援を間近で観戦させて頂き、貴重な体験でした。色んな事に興味を持つきっかけを作って頂きありがとうございます。

1月には修学旅行でスキーを体験させて頂きますが子どももすごく楽しみにしております。先生方も大変ですが宜しくお願いします。

1年普通科

文徳点描

http://www.buntoku-h.ed.jp

熊本市西区池田 4-22-2 文徳高等学校
Tel096-354-6416 FAX096-359-2379
文徳学園通信 広報部
2020 年 1 月 27 日発行 第 573 号

- 生 一 奉仕精神を旺盛にする
- 活 一 人の立場を深く理解する
- 信 一 物を大切に作る
- 条 一 礼儀作法を実践する

ご家庭より

1年 普通科

保護者会での英語外部検定試験導入の延期や大学ごとの見解のお話を聞きすっかり対策していく事の必要性を痛感致しました。

1年 普通科

減多に見られないハンドボール世界選手権を観戦する事ができ、とても貴重な経験になったと思います。今後この様な機会があれば積極的に参加してほしいです。

1年 普通科

いつも文徳点描、ありがとうございます。学年保護者会に参加させて頂き、今後の進学について少しわかりました。子ども自身まだ進路の事を重く考えておらず、親が心配しているばかりです。早く自分で今後の見通しをつけてほしいと思います。また、ハンドボールの観戦はとても喜んでおり、私もボランティアで入り、世界の選手を見て興奮しました。生で本物を見てよい経験になったと思います。

1年 普通科

今年最後の保護者会と学級懇談会。私達の頃の大学入試とは変わっているようでこれから理解出来るか不安です。しかし、基本は学力と健康な心と体。中学時代に苦しんだ我が子。「昨年の今頃と比べると体調もいいし、頑張っているよね。」と話します。少々の困難にも挑戦してみる気持ちが日に日に出てきています。文徳高校に入学し、とても変わりました。自分を認め、理解してくれる先生方、友人。新しい出会いが我が子を前へ前へ進ませてくれています。懇談会でも「クラス、替えなくていいのにな」とお母さん達と話していました。クラスみなさんに感謝。そしてこれからのご縁も楽しみにしています。担任の先生、最高でした。

1年 普通科

ハンドボール世界選手権、子ども達が観戦出来てとても良かったと思いました。私はテレビで観戦しましたが、世界ともなると「わか」なのにとても楽しかったです。選手みなさんの頑張りや若い子たちに刺激になりましたね。ありがとうございました。

1年 普通科

12月の点描で進路指導部より「自分時間」の話を聞いてとても共感しました。ネットに依存している子ども達はその大切さを意識してほしいと思いましたが、「自分時間」に対する言葉として使われている「他人時間」という言葉は少し引かかりました。途中、その意味を説明されていますが子ども達が正しくその意味を理解出来るのか?と思います。他人のために自分の時間を使うとは決して間違っていないと思うからです。

1年 普通科

1年最後の学期になり、文系・理系の選択に迷い、苦手な数学があるけれど理系を望んでいます。公務員希望ですが簡単にはいかない!最後の頑張りを目指しています。点描の就職公務員ガイダンスの緒方先生の熱意に促されて頑張っています。



茶道部 初釜の様子

1年 普通科

冬休みが終わり、面談で計画した勉強の計画どおりにはなかなかいきませんが、年末の家の掃除などお手伝いをすることも多くて頼もしかったです。来年は受験まであと1年となり今回のように少し余裕のある年末年始は無理なのかも知れません。長期を見据えて今年から進路に引き合せて目標に近づいてほしいです。

1年 普通科

12月の「文徳点描」の中の「自分時間を確保する」という記事が特に印象に残りました。子どもだけでなく大人も自分に必要な事をするための時間を如何に1日24時間の中に組み込んでいけるかという事は大きな課題だと思いました。記事にもありましたが、自分の好きな事だけをして生きていくことはできません。目標を定めれば、次に今は何をやる時間なのかという事を再確認できます。1日の時間を有意義に過ごす習慣が身につけば集中力を高めるきっかけにもなり、質の高い人生につながるように感じています。子どもと共に自分自身の課題として感銘を受けた内容でした。

1年 理工科

昨年は本当にあつという間でした。入学後は部活もあり大変だったと思いますが学校も部活も楽しいという言葉が親として何よりでした。まだまだ、子ども扱いしてしまい、反省ばかりです。1人の大人へと自立できるよう親は口出しを控え、自分で考え行動してほしいです。

1年 理工科

新年を迎え、入学してあっという間に高校生活の1年が終ろうとしています。入学してから目指す目標も少しずつ変化しながら自分なりに努力をしているように思います。高校生活で自分が後悔しなくてもいいように色々な検定、資格取得にもチャレンジし、自分の夢に近づいてほしいと思います。

1年 理工科

12月の保護者会には残念ながら参加する事が出来ませんでした。文徳点描で大きな内容をお知らせ頂き有り難いです。人権同和講演会で、語り部の方の生の声を聞くことが出来たこと、これから社会に出る子ども達に何が間違っているのかを正しく知ることが出来るのは、文徳のこの取り組み、素晴らしいと思います。これから大切にしてほしい教育内容です。(性教育も同様です。)

1年 理工科

昨年の今頃は受験を控え、ピリッしていました。今年「三三三」の冬休みを過ごして、友達の話を聞いてくれて、今のクラスで過ごすのも残り3カ月、修学旅行もあり、たくさん楽しい思い出を作っています。

2年 普通科

令和最初のお正月を迎え、今年一年健やかに過ごす事を願いました。いよいよ次のお正月には受験に向き合う事となります。大学入学共通テストの初受験生です。記述式問題や英語の民間試験導入など振り返された感があり、すが、自分の力を信じてこの一年頑張りたいと思います。

2年 普通科

保護者会お世話になりました。進路別分科会では大学受験に向けての貴重なお話を聞くことができました。英語外部検定試験導入延期を受けて右往左往する事なく、地道な努力が必要な事も考えさせられました。本人は英検に挑戦し、少しでも上の級を目指しているようです。大学受験に関わらず、自分の自信につながるものだと思います。そのために、来年は希望の進路に少しでも近づけるよう他教科についても力を付けてほしいと思います。

2年 普通科

ハンドボール観戦は本当に楽しかったようです。テレビと違って迫力もすごかったと話していました。高校生活も残り1年ちよつとになりました。目標に向って頑張りたいと思います。

2年 理工科

冬休みは部活もなく、勉強もほとんどせず、ゆつくり携帯三昧でしたので、家の手伝い大掃除をたくさんしてもらいました。いよいよ今年は3年生になります。社会へ出る準備もしていかなければと思います。

3年 普通科

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。年明け最初の登校日は合格祈願式があり、我が子が3年生代表挨拶に選ばれ登壇しました。無事に式が終わると先生方からお褒めの言葉をいただき、本人も満足そうに話してくれました。その誓いを胸に入試に立ち向かう事を願います。

3年 普通科

大学入試センター試験まであと10日となりました。苦手な教科を重点的に勉強した結果、目標点を超えることができたようです。本番まで自分がやってきたことを信じて自信をもち、迎えてほしいと思います。

3年 普通科

高校生活も残り少なくなり3年間目標に向って過ごしてきたと思います。「受験」というチャレンジに自分なりに全力を注げるように一番大事なのは体調管理をすることだと思っています。基本的なことがブレない様にサポートしようと思います。

3年 普通科

いよいよカウントダウンに入りました。自分がなりたい姿に向かって日々勉強に励んでいます。初めて迎える大きな壁をぶち破って一歩を踏み出せるよう応援するのみです。残りあと少し、指導の程、宜しくお願い致します。

3年 普通科

明けましておめでとうございます。今年も先生方、執行部の皆様、立派な門松がありがとうございます。きつと今年も文徳学園に素敵な風が吹き込むと思います。いよいよ、卒業までカウントダウンです。受験を控えている3年生、進路が決まった3年生。残り少ない高校生活「時間」を大切にしたいと思っています。

3年 普通科

12月末に三者面談の時間を先生に作って頂き、ありがとうございました。元々視野が狭かったのが、次がなかなか見つけられず…。先生の助言で次の目標が出来ました。後は本人の頑張り次第です。残り少ない高校生活、悔いのないように頑張りたいです。後数ヶ月ですが、ご指導の程宜しくお願い致します。

3年 普通科

明けましておめでとうございます。卒業まであと僅かですが、宜しく致します。12月の文徳点描に載っていた「自分時間」の事、子どもだけでなく私自身にも「グサグサ」突き刺さる内容でした。当たり前の事ですが、1日24時間を上手く自己管理し、自分時間を増やす事が出来るのか…。それが出来れば「人生の質も自ら高くなる」という事。毎日、仕事と家族の中で自分を向上させる為の時間を2020年は、少しでも確保し、子どもだけでなく私も成長できる様、頑張りたいと改めて思いました。子どもは小さい頃からの夢見ていたスタートラインに立つ事ができたので充実した毎日を送れるよう日々努力してほしいです。親としてもしっかりサポートしていきたいと思っています。



囲碁将棋同好会 芦田さん

3年 普通科

志望校に合格した娘は、お正月をのんびりするかと思いきや、休み明けの卒業試験の勉強を頑張っていました。合格後も意外と浮かれずに真面目に過ごしているので安心しています。1月14日から家庭学習に入るので学校に行くのも本当にあと僅かになりました。4月からの新しい世界に夢や希望が膨らむ一方、楽しい高校生活が終わるのがとても寂しいようです。文徳で過ごした3年間は、娘にとってもかけがえのない宝物のような時間だったと思います。息子、娘と合わせて6年間お世話になりました。いつも熱心に(見捨てずに)ご指導いただいた先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

3年 理工科

高校生活も本当に残り僅かとなりました。とてもいい友人や先生方とめぐり会えた事を本人もとても良かったと思っているようです。今から別れが辛いと言っており、みんな大切な時期ですが、僅かな事でもかけがえのない思い出になるはず。噛み締めて楽しんで過ごしてほしいです。

3年 理工科

卒業を間近に控え、センター試験の勉強をしている姿を見守っています。指導してくださる先生方に恵まれ息子も学生生活を楽しんでいる様子です。高校入学時から「しっかり勉強したい」と言い、3年間実行してきた姿は、たくましくその成長を見守ることが出来たことを嬉しく思います。最後まで応援し、支えていきます。